

メッセージカードとペン立て

# 小さなグッズ 大きな支援に

7月豪雨の被災者を支援しようと、山辺町の金属加工業者がチャリティーグッズをインターネット販売している。アルミ製のメッセージカードなどを考案し、担当者は「被災した人を支援するルートの一つになれば。自社も被災したが、被害を免れた金属で作ったので、災難よけのお守り代わりに持つてほしい」と発信している。

## 山辺・金属加工業者販売

### 「豪雨被災者へ」収益、県に寄付

業者はヒカルマシナリー（会田智巳社長）で、貴殿は新幹線の肘掛け部分や自動車製造ラインの部品などを作っている。豪雨の際は事務所棟が床下浸水の被害を受け、周囲の民家は床上まで水が上がった所もあつたという。会田社長の長男悠城さん（27）がこうした状況をツイッターに載せたと

ころ、閲覧数が28万に上り、県内外から応援コメントが届いた。

#### 「水害に負けない」

工場の設備に水害の被害はなく、2日後に営業を再開できた。周囲や県内の被

害の大きさに心を痛めた悠城さんがチャリティーグッズの製作を提案。メッセー

ジカードには、宮沢賢治の詩に「新型コロナウイルスや水害に負けない」という思いを込めて言葉を刻んだ。文字の彫刻は仕事仲間の中村彫刻（同町）に依頼。カードは2200円。他に、メッセージ付き3500円がある。

悠城さんはカードやペン

立てが身近にあれば災害の怖さを思い出させ、防災意識の向上につながると考える。「報道されない被害がたくさんあり、もっと知つてほしいと思う。一般消費者向けの販売は初めてで試行錯誤しているが、被害を風化させないためにもチャリティーを広めたい」と話す。

チャリティーグッズは、ネットショップ作成サービス「BASE」を活用して11月末まで販売し、全ての利益を県に寄付する。ネットショッピングのアドレスは<https://hikarumachi.base.shop/>

問い合わせは同社023（604）64055。（江袋和貴子）



ヒカルマシナリーが考案した7月豪雨のチャリティーグッズ  
山辺町